MATSUSHIMA

FORESIGHT

Matsushima Holdings News Letter Vol.007 *2018 Spring*

［特 集］“DROP IN ON THE WAY” おとなの寄り道

信楽へ、春を迎えに。

［連載企画］クルマの今を追求！ **Motor Lab.**
4代目(ND型) MAZDA ROADSTER
マツダ株式会社 ロードスター開発責任者
中山 雅氏 インタビュー

［連載企画］私流カーライフの楽しみ方 **車・楽・人**
KBS京都キャスター　竹内弘一さん
ロードスター。「車に乗る喜び」を
これほど体現できる車はありません。

マツシマホールディングスからプレミアムなCar Lifeを追求する新しいブランドが生まれました。

Kiwakoto

Kiwakotoが考えるデザインは、単に商品の姿・形など、
スタイルとしてのデザインを意味するものではありません。

現在のライフスタイルに真に求められる使い勝手、機能、美しさを考え、
それを商品に付与すること、さらに、ユーザーの体験までを捉えたモノづくり、
それがKiwakotoにおけるデザインが意味するものです。

茶釜師吉羽與兵衛監修・宮崎木材『茶釜入 野点セット』や、
友禅染の技法を施した牛本革と西陣織の裏地の『バッグシリーズ』など、
これまでにない美しさを形にした【handmade products】。

伝統工芸技術を用いた外装・内装のオーダーメイドサービス【Craft-Car】は、
西陣織のシート、金彩をほどこしたレザーシート、漆の外装など、
伝統工芸技術を用いて特別な空間を演出します。

「これでいい」ではない、「これでなくては」というモノづくり。
プレミアムカーライフへ、ようこそ。

Kiwakoto.com

2018 4/1
Audi京都、Mercedes-Benz京都中央、Kyoto BMW本社にて販売スタート。

2018 4/13～5/13
「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2018」にてKiwakotoブース出展。
メイン会場（中央卸売市場）にてBMW740e・X3のクラフトカーを展示します。

MATSU SHIMA

株式会社マツシマホールディングス
京都市右京区西院寿町40番地の3　TEL. 075-313-6121
http://matsushima-hd.co.jp
公式サイトでは、「FORESIGHT」取材オフショットも!

SNSをチェック!
Instagram matsushima_hd
Facebook マツシマホールディングス

輸入車・国産車　正規ディーラー

メルセデス・ベンツ京都中央
TEL. 075-314-8800
京都市右京区山ノ内池尻町8番地2

smart center京都, the garden
TEL. 075-754-5100
京都市左京区岡崎南御所町20番地1

Kyoto BMW 本社　TEL. 075-314-5500
京都市右京区西院南高田町10番地

Kyoto BMW 宝ヶ池　TEL. 075-721-5400
京都市左京区岩倉東五田町6番地

Kyoto BMW 京都南　TEL. 075-604-4600
京都市伏見区竹田泓ノ川町3

Kyoto BMW BPS京都南　Coming Soon
※移転リニューアルオープン予定

MINI 京都　TEL. 075-791-3232
京都市左京区岩倉東五田町6番地

MINI 京都南　TEL. 075-604-4400
京都市伏見区中島堀端町96

Volkswagen 平安　TEL. 075-463-4181
京都市北区平野宮本町7番地

Volkswagen 宇治　TEL. 0774-46-5577
京都府久世郡久御山町下津屋北野30-3

Volkswagen 草津　TEL. 077-569-5399
滋賀県草津市矢倉2-6-10

Audi 京都　TEL. 075-791-5122
京都市左京区高野西開町59

Audi 京都南　TEL. 075-604-6636
京都市伏見区横大路天王前16-5

Audi 奈良　TEL. 0742-32-1881
奈良県奈良市柏木町469

マセラティ京都　TEL. 075-314-6000
京都市右京区西院南高田町10番地

ポルシェセンター広島　TEL. 082-926-3311
広島市佐伯区八幡東4-31-29-4

スズキアリーナ京都西　TEL. 075-382-1122
京都市西京区桂千代原町56

京都マツダ 西五条　TEL. 075-311-0580
京都市右京区西院南高田町10番地

京都マツダ 宇治　TEL. 0774-20-3020
京都府宇治市槇島町十八44番地3

レンタカー

バジェット・レンタカー 京都西五条店
TEL. 075-316-5515
京都市右京区西院寿町40番地3

バジェット・レンタカー 京都宇治店
TEL. 0774-25-7055
京都府宇治市槇島町三十五37番3

海外事業

タイガー貿易 TEL. 075-315-1788
京都市右京区西院南高田町10番地

タイガー商事 TEL. 03-5567-0130
No.20, Jalan Juruhebat U1/50,
Section U1, Temasya Industrial Park,
40150 Shah Alam, Selangor

Audi Setia Alam　TEL. +603-3362-6224
No.22A, Persiaran Setia Dagang,
Setia Alam, Seksyen U13,
40170 Shah Alam, Selangor. Malaysia

株式会社マツシマホールディングスは「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2018」を応援します　www.kyotographie.jp

「壺中」。それは、日常を離れた別天地。

1 使われなくなった登り窯の棚板をギャラリーの壁面に。
2 茶室「壺中庵」の内部。「茶のこころ」を伝える、凛とした空気に満ちて。
3 信楽焼の作家、「保庭楽入」としての作品世界を表現するギャラリー。
4 一服のお茶がもたらす、ゆたかな時間の流れを感じられる。
5 電気窯に替わるまで使われていた「穴窯」は今も神聖な場所。

楽入陶房　壺中庵　らくにゅうとうぼう こちゅうあん

〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野703
TEL 0748-82-1133
定休日：木曜日（要予約。詳細は電話にてお問合せください）
アクセス：新名神高速道路 信楽IC下車（約10分）　駐車場：約5台

一日体験コース（作陶・略式茶懐石料理）13,000円
作陶（約2時間）を含めた約5時間のコース。ゆったりした心豊かな非日常の空間と時間を楽しめます。
（※作品の施釉と焼成は後日壺中庵で行います。完成作品の発送は、送料の実費もしくは着払いで）
そのほか「茶事体験コース（13,000円）」等も。詳細は上記まで問合せを。

［特 集］“DROP IN ON THE WAY” おとなの寄り道

信楽へ、春を迎えに。

凛とした空間の中で、茶のこころに触れてみる、無心に土を捏ね、かたちづくる。
日々の喧騒を離れ、自分を取り戻す贅沢な時間を手に入れに、車を走らせてみませんか。

京都市内から車で約1時間。新名神高速道路・信楽ICを下りた滋賀県甲賀市信楽町。古くは聖武天皇が「紫香楽宮（しがらきのみや）」という優雅な名の都を置いた歴史あるこの地は、四方を山に囲まれるため、季節の移ろいがより美しく鮮やかに感じられます。また日本六古窯のひとつ、「信楽焼」の産地としても知られています。

「楽入陶房（らくにゅうとうぼう） 壺中庵（こちゅうあん）」。国道307号線を折れて細い路地を進むと、趣ある門構えが訪れる人を迎えます。ここが特別な時間と空間への入り口。一歩足を踏み入れれば、手入れの行き届いた中庭には、茶室「壺中庵」が静かなたたずまいを見せています。

保庭楽入（ほにわらくにゅう）さんは、信楽焼の窯元「楽入陶房」の当主として作陶に励む傍ら、日本の伝統行事を通じて和文化の魅力を感じてもらいたいと、工房・茶室を出会いの場として提供されています。ご夫婦そろってお茶を楽しまれており、おふたりの「茶のこころ」を通じた、あたたかく洗練されたもてなしは評判を呼び、近畿一円はもとより、遠く海外からお越しになるお客さまもいらっしゃるのだとか。

「壺中」とは、俗世間を離れた別世界のこと。楽入さんはこう語ります。

「私たちの現実の生活は、ついつい時間に追いかけられる慌ただしいものになりがちです。ここ壺中庵は、縁あって訪れてくださる皆さまがそんな日常からひととき離れ、季節ごとの心ゆたかな時間を過ごすことで、本来のご自身を取り戻すための場所にしていただきたいと思っています」。

信楽の土を手びねりする作陶体験、心づくしの茶懐石の昼食とともに弾む会話は何よりの心のご馳走。贅沢な時間が流れます。

信楽焼に興味が湧いたら、「陶芸」をテーマにした緑豊かな芸術公園「滋賀県立陶芸の森」へ。野外展示も多数あり、ご家族やペットと一緒にピクニックも楽しめる広大な芝生の広場では、心地よい風に吹かれるひと時を過ごせそうです。「陶芸の森」から車を走らせること約15分。地元の方も「美味しい！」と口をそろえる手打ち蕎麦のお店「黒田園」は、福井県から移築した築100年という重厚なたたずまいの古民家で、信楽の名産「朝宮茶」の元お茶農家が営むお店です。店内は天井が高く、中央にどっしりとした囲炉裏が据えられ、どこか懐かしい時間が流れています。

あたたかなもてなしと豊かな自然、今も息づく伝統産業。こころも体も豊かになれる、ちょっと贅沢な一日を過ごしませんか。

「壺中庵」から ほんのひと足、伸ばして。

滋賀県立陶芸の森

やきものの町・信楽にある「陶芸」をテーマにした緑豊かな芸術公園。中には陶芸専門の美術館「陶芸館」や、信楽焼のショップ＆ギャラリー「信楽産業展示館」、また国内外のアーティストが滞在制作する「創作研修館」を備えています。広大な芝生の広場では、ご家族やペットと一緒にピクニックも楽しめます。そのほか園内には3mを超える大きな作品をはじめとした野外展示も多数存在し、「やきもの×アート×自然」を五感で体験することができます。

〒529-1804　滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7
TEL 0748-83-0909　FAX 0748-83-1193
http://www.sccp.jp/
利用料金：入園無料（陶芸館のみ有料）
開園時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休園日：月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末、年始
アクセス：新名神高速道路 信楽I.C.より約8分
駐車場：普通車約250台 大型バス約10台

手打ちそばと朝宮茶の店 黒田園

福井県から移築した築100年という重厚なたたずまいの古民家で、信楽の名産「朝宮茶」の元お茶農家が営む手打ち蕎麦のお店です。喉ごしがよくコシのある麺は「九一蕎麦」という珍しい割合で打たれたもの。店内は天井が高く、中央にどっしりとした囲炉裏が据えられ、どこか懐かしい時間が流れています。平日限定、ボリュームたっぷりの「海老天セット」（1,500円）で大満足。自家栽培の朝宮茶も販売されています。

写真：もりそば（900円）／天麩羅盛り合わせ［大］（1,300円）
※価格はすべて税込

〒529-1841 滋賀県甲賀市信楽町上朝宮271-1　TEL 0748-84-0485
営業時間：11時30分～16時30分（麺がなくなり次第終了）
定休日：月曜日／第3火曜日（祝日の場合は翌日）
アクセス：信楽高原鐵道信楽駅より307号線を宇治・大阪方面へ10分
駐車場：あり

今回の表紙

Ogama おおがま

今は使われなくなった登り窯と作陶小屋を改装した、信楽焼の窯元、明山窯直営のカフェ・ショップ・ギャラリー。陶芸教室も開催しています（要予約）。9部屋にわたる登り窯は圧巻の眺め。登り窯の周辺は自由に散策することができます。

〒529-1851　滋賀県甲賀市信楽町長野947
TEL 0748-82-8066
http://www.meizan.info/ogama/
営業時間：11時～17時
営業日：金・土・日・月・祝
アクセス：新名神高速道路 信楽IC下車（約10分）
駐車場：約8台

今回のモデル車

MINI COOPER S E CROSSOVER ALL4

MINI 史上初、プラグイン・ハイブリッド・モデル。
電力のみで42kmまでゼロ・エミッション走行が可能です。eDriveとガソリン駆動の切り替えは、非常にスムーズで自動的に行われます。
¥ 4,790,000 ～

Audi Q2

これまでのAudiとは
一味も二味も違う「型破り」なクルマ
普遍的な特徴は維持しつつ、従来のAudiとは一線を画す個性的かつ斬新なエクステリア。そして抜群の取り回しの良さと数々の先進機能を搭載したプレミアムコンパクトSUV、それがAudi Q2です。¥2,990,000～

ロードスター。「車に乗る喜び」をこれほど体現できる車はありません。

無類の車好きとして知られるKBSキャスターの竹内弘一さん。中でもマツダロードスターは特に思い入れの深い車だそう。自らハンドルを握っていただきながら、お話をうかがいました。

INTERVIEW #02

竹内弘一

KBS京都キャスター

変わらぬ「スピリッツ」を受け継ぐロードスター

ロードスターと初めて出会ったのは大学時代です。先輩の車に乗せてもらい、「乗っていてこんなに気分の良い車があるのか！」と驚きました。その後、絶対にこの車に乗りたいと一所懸命アルバイトをして、黒のクロームメッキで5万キロを走ったロードスターを20歳の時に手に入れました。それから35歳までの15年間、走行距離が23万キロになるまで大切に乗り続けました。手放した理由ですか？家族が5人になったので泣く泣くです（笑）。

ロードスターはモデルチェンジを繰り返し、車体もエンジンもどんどん進化していますが、どのモデルに乗っても不思議なほど、「ロードスターに乗っているんだ」という感覚は変わりません。「ロードスター・スピリッツ」とでも呼びたいような、この車の確かな個性はずっと受け継がれています。今もこうやって乗ってみると、大学生の時のことや恋人とデートした思い出などが生き生きと蘇ってきます。

ドライバーに寄り添い、「等身大」で運転できる車

高級車は数限りなく存在しますが、ロードスターほど「人に寄り添う車」はありません。「人馬一体」とでもいうのでしょうか、車の性能に振り回されるのではなく「等身大の自分が車を動かしている」という実感があります。身体にフィットして運転しやすく、まるで車が身体の一部になっているように感じられるのです。

例えば、各パーツの位置ひとつとってもそうです。ほら、座ると自然に手がおさまる場所に、ハンドルやブレーキレバーが配置してありますね。車の大きさや何人乗りかなどいろいろな条件があるので、全ての車が必ずしもこのように作られているわけではありません。ロードスターはドライバーに優しい、ホスピタリティにあふれた車だと思います。

2シーターでたくさんの荷物は積めませんし、決して実用的な車とは言えませんが、これほど「車を運転する」喜びを純粋に感じられる車は他にないのではないでしょうか。世界中どこで見かけても思わず笑顔になる、日本が世界に誇れる車です。

後輩の海平和アナウンサーと自動車イベントにて

竹内弘一●たけうち・こういち　KBS京都キャスター。1977年大阪府生まれ。同志社大学法学部政治学科卒業。2000年KBS京都にアナウンサーとして入社。現在はニュースの編集責任者＝ニュースデスクも務める。国政、府政などの選挙特番の司会、構成も手掛け、京都の政治、経済の現場を幅広く取材中。クルマ、ゴルフ、料理好きの3人の子どものパパの両面を併せ持つ。

Koichi Takeuchi

国際的に権威のあるデザイン賞をダブル受賞した機能美に注目！

4代目ロードスターは、女性にもオススメの正統派ライトウエイト・スポーツカー！

mazda

4代目(ND型) MAZDA ROADSTER
マツダ株式会社 ロードスター開発責任者

中山 雅氏 インタビュー

1989年にリリースされて以来、同一モデルとしては異例のロングセラーを誇る「マツダ ロードスター」。
4代目となる現行型(ND型)は、これまで以上に原点回帰を強く意識したモデルです。
そんなND型の開発責任者である中山氏に、改めてロードスターの魅力を伺ってきました。

Text&Photo：Yuichiro Ohara

ダウンサイジングは原点回帰のため

小原　4代目(ND型)ではボディもエンジンもダウンサイジングされていますが、これにはどのような想いが込められているのでしょうか。

中山氏　ロードスターは約30年間続いている貴重なネームプレート(モデル)ですが、これはライトウエイト・スポーツカーというコンセプトを頑なに守り続けてきたからこそ、お客様に支持されてきたのだと考えています。ただ、どのモデルもそうですが、モデルチェンジを重ねていくとボディもエンジンも少しずつ大きくなる傾向があります。ND型の開発にあたっては、このまま同じことを繰り返していたら肥大化し、ライトウエイト・スポーツカーというコンセプトを維持するのが難しくなると考え、思い切ってダウンサイジングの方向へ舵を切りました。

　新型車の開発には膨大なコストが掛かりますが、その中でもエンジンは一番大きなウエイトを占めます。したがって、新エンジンを開発すると、お客様へ相応の負担をお願いしなければなりません。それはマツダとしても誠意のある方法ではないと考え、デミオやアクセラで使っている「SKYACTIV-G 1.5」を搭載することにしました。

　その甲斐もあって、ND型の全長は初代(NA型)よりも短い3915㎜、重量もベーシックモデルの場合は初代と同等の990㎏を実現できました。つまり、今回のダウンサイジングによって、初代が見ていた方向(原点)へ着実に回帰できたと考えています。

乗り心地の良さはロードスターの伝統

小原　乗り心地は比較的マイルドな印象を受けましたが、これはND型独自の味付けなのでしょうか。

中山氏　まずシートですが、ND型ではバネを使用しない吊り下げ式のシートを開発しました。このシートは部位ごとにテンションの異なるネットを配置し、運転に必要なサポート性能とコンフォート性能を両立させています。

　スポーツカーでは足回りや操作系を堅めにセッティングをするのが一般的ですが、ロードスターはスポーツカーの間口を広げたいため、比較的マイルドなセッティングにしてあります。これは初代から変わらない伝統ですが、ND型では吊り下げ式のシートとの相乗効果もあって、さらに乗り心地が良くなっています。したがって、女性にも安心して乗っていただけるスポーツカーに仕上がっていると思います。

ソフトトップとRFは方向性が異なる

小原　ロードスターにはソフトトップとハードトップ(RF)の2タイプがありますが、それぞれの方向性についてお聞かせください。

中山氏　正直、RFの開発にあたっては、社内でさまざまな意見があったことは確かです。しかし、結果的にはカニバリゼーション(※自社の商品・サービスが自社の他の商品・サービスを侵食してしまう現象)は一切発生せず、ソフトトップとRFのお客様は見事にセグメントできています。

　オリジナルモデルのソフトトップは、オープンカーとしての利用がデフォルトで、必要に応じてルーフを閉めることができるクルマ。これに対して後発のRFは、ハードトップとしての利用がデフォルトで、必要に応じてルーフを開けることができるクルマという正反対の位置付けにしました。

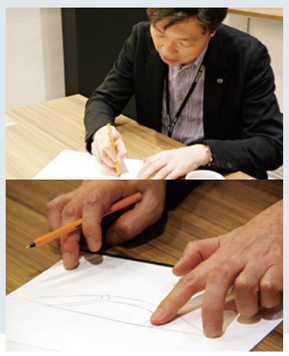
　この結果、ソフトトップはオープンタイプのスポーツカーを好むマニア層向け、RFはスポーツカーを日常の足としてお洒落に乗りこなしたいコンフォート層向けという具合に綺麗に棲み分けができました。実態としては、ソフトトップはマニアの方のファーストカーとして、RFは若干、生活に余裕のある方のセカンドカーとして乗っていただいているような気がします。

権威あるデザイン賞をダブル受賞

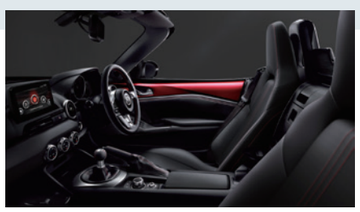
中山氏　「ひとつ自慢話をしていいですか？」(笑)

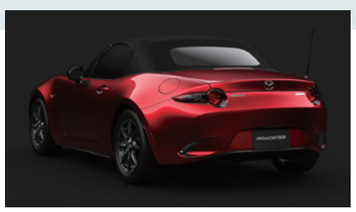
　ドイツには「reddot design award」という世界的に権威のあるデザイン賞があるのですが、2015年にソフトトップがプロダクトデザイン部門の最高位であるベスト・オブ・ベストを獲得。しかし、それだけに留まらず、今度は2017年にRFが同賞のベスト・オブ・ベストを獲得しました。おそらく、同一ブランドで2度も権威あるデザイン賞の最高位を受賞した例は他にないと思います。

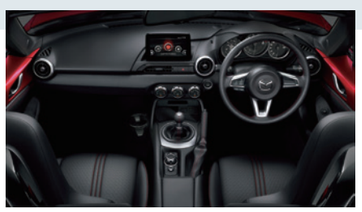
　これはソフトトップとRFが全く別物のクルマに見える証拠であるわけで、デザイナーとしても開発責任者としても大変嬉しい出来事でした。



上：デザインの話になるとスケッチを交えながら、より一層楽しそうに説明してくれる中山氏。まさに「魂動デザイン」の実演だ。
下：デザインの説明中にスケッチしてくれた絵。中山氏はプロのデザイナーだけあって、大変美しい絵を描いてくれる。スタッフ一同感動！







ご自分の名刺に直筆のサインを書き添えて渡してくださるなど、気さくな一面を見せた中山氏。
その一方でクルマの話になると真剣な眼差しになり、ロードスターへの熱い想いを語ってくれた。

実車の前では、デザインについて体を使って分かりやすく解説してくれた中山氏。
改めて見ると前後のオーバーハングは極端に短く、人馬一体への想いが強く感じられるデザインだ。

PROFILE

中山 雅●なかやま・まさし
マツダ株式会社 商品本部主査兼デザイン本部チーフデザイナー。
1989年マツダ入社。2000年にデミオとRX-8のデザインを手掛け、2009年にはCX-5のチーフデザイナーを務める。2011年にロードスターのチーフデザイナーとなり、2016年7月からは同車の開発責任者を兼務。

インタビューを終えて

　今回はND型の試乗と併せて開発責任者の中山氏からさまざまなお話を伺いました。その中で強く印象に残ったのは、やはりデザイン賞のお話。ロードスターはライトウエイト・スポーツカーという性質上、スペックや機能面に視線が行きがちですが、今回のND型はマツダというメーカーの枠を飛び越えて、日本が世界に誇ることのできる素晴らしい機能美を持ったスポーツカーであることを再認識しました。

　ロードスターには、従来のソフトトップに加え、エレガントさを併せ持ったRFもラインアップされています。どちらのモデルを選ぶのかは、お客様の感性次第。お時間のある時に、ぜひマツシマのショールムへお越しください。

小原 裕一郎　Yuichiro Ohara
モータージャーナリスト/マーケティングコンサルタント(フリーランス)
ビデオリサーチ → ニールセン → Yahoo! Japanを経てフリーランスに転身。マーケティングや広告が本職だが、1990年代からモータージャーナリストとしても活動しており、とりわけ4WDやSUVには造詣が深い。